



※写真撮影時のみマスクを外していただきました。

令和4年度

はたちのつどい

対象年代 ▶ 平成14年度生まれ
該当者数 ▶ 448人
出席者数 ▶ 338人（出席率 75.4%）

PHOTO REPORT



市生涯学習課生涯学習係 TEL 32-1899

—— 十歳という節目、真新しいスー
—— ツや振袖に身を包んだ若者たち。
1月7日、「はたちのつどい」を市民文化センターアクロスで開催しました。
式典では、参加者の代表として高野大晟さんが「大人としての自覚と責任感を持ち、感謝の気持ちを忘れずに社会貢献に努めていく」と決意を表明。式典後は、会場の外で旧友との再会を喜ぶ姿や記念撮影をしている姿が見受けられました。

はたちのつどい開催までの歩み



今年の実行委員は18名。参加対象者の中から選出し、8月に実行委員会が始動しました。

イベントの構成や会場装飾、記念品や記念誌の作成など、式典の準備には多くの協議が必要です。進学などで市外に住む人も多いため、WEB会議やSNSを利用しながら協議を進めていきました。

「はたちのつどい」として新たなスタート

令和4年4月から、成年年齢が20歳から18歳に引き下げられ、「成人式」から名称を変更した「はたちのつどい」。実行委員長長の福田聖斗さんは、「はたちのつどい最初の参加者として、20歳という節目でよいスタートを切れるような式典にしたい」と意気込みを語りました。

ハタチの想い 実行委員にインタビュー



見守り支えてくれた家族に感謝を伝えたいです。将来は音楽イベントの企画に携わりたいです。

（結城南中学校卒業生）
渡邊 脩太さん



沢山の愛情を注いでくれた両親へ、感謝の気持ちを忘れず恩返しをしていきたいです。

（結城中学校卒業生）
宮田 美岬さん



今まで支えてくれた親と先生方に感謝します。将来は宇宙飛行士になりたいです。

（結城東中学校卒業生）
三ツ沢 充智さん



令和4年度 はたちのつどい 実行委員の皆さん

「コロナ禍でも楽しめる企画を」

実行委員の意見から、AR技術を利用したイベント限定のフォトフレームを今回初めて提供しました。